

# POULTRY WORLD

2024年2月10日

## Calls for EU legislators to ban cages for layers EU 議員に畜産動物のケージ使用禁 止を要請



ケージなし卵への平均移行率は、ヨーロッパでは 80%、アメリカでは 73%、アジア太平洋 (APAC) 地域では 57%であった。写真 Canva

動物愛護チャリティ団体 Compassion(おもいやり) in World Farming は、最新の EggTrack 2023 報告書の中で、欧州連合 (EU) に対し、約束した飼育動物のケージ使用禁止を実現するよう求めている。

鳥インフルエンザ、インフレ、ウクライナ戦争といった継続的な課題にもかかわらず、食品会社は採卵鶏に対してケージのない生活を提供することに注力している。しかし、彼らの行動が立法府によって強化されなければ、最終的なケージ根絶には至らないとしている。

そのような法律は、消費者の態度を広く反映するものであると主張する。2020年に「‘End the Cage Age’ (ケージ時代を終わらせよう)」活動に署名した140万人のEU市民や、2023年のユーロバロメーター\* 報告書によれば、ヨーロッパ人の91%が飼育動物の福祉を守ることは重要であると考えており、84%が動物は現在よりも保護されるべきであると答えている。

\* Eurobarometer(ユーロバロメーター)は、1973年から欧州委員会が行っている世論調査分析(Public opinion analysis)の結果をまとめた資料で、調査範囲は、EU拡大、社会情勢、健康、文化、情報技術、環境、防衛、欧州の市民権に関するものなど多岐にわたります

## Egg Track のコミットメント

今年、Egg Track がモニターした企業は444社。そのうち511社(71%)がケージフリーに取り組んでおり、平均75%がケージフリー卵に移行しています。製造業者51社、小売業者およびミールキット提供業者195社、レストラン111社、生産業者13社、フードサービスおよびホスピタリティ企業74社と、すべての分野にまたがっている。

数値は世界各地で異なる。ケージフリー卵への平均移行率が最も高かったのはヨーロッパで80%、アメリカでは73%、アジア太平洋(APAC)地域では57%であった。アソシエテッド・ブリティッシュ・フーズ PLC、Bakkavor Group PLC、プリンカー・インターナショナル Inc、CKE レストランツ・ホールディングズ Inc、デイリークイーン、デラウェア・ノース、マコーミック・アンド・カンパニー、ノルウェージャンクルーズライン、JMスマッカー・カンパニーの計9社が新たにケージフリーに取り組むことを表明した。

デラウェア・ノースの持続可能性担当ディレクター、デビー・フリーデルは、同社はここ数年、Compassion in World Farming (CIWF)と協働しており、ケージフリーの取り組みを進めるためにできることがあると認識していたと述べた:「製品の在庫状況やサプライチェーンの混乱は、動物福祉へのコミットメントを達成する上で大きな課題となります。一貫したコミュニケーションとフィードバックを通じて、2025年までに100%ケー

ジフリーの卵に移行するために、CIWF の知識と専門知識から大きな恩恵を受けています。”

## ケージフリーの目標達成

今年、世界、地域、国のいずれかのレベルで 8 社がケージフリーの目標を達成した。ハーシー・カンパニー(グローバル・ケージフリーを達成)、LJ フェアバーン & サン・リミテッド(イギリス)、グルッポ・ユーロヴォ(イタリア)、KFC(ヨーロッパ)、クラフト・ハインツ・カンパニー、CVS、ウォルグリーン(アメリカ)、バーガーキング(オーストラリア・ニュージーランド)である。

過去には、企業がグローバルなサプライチェーンを通じてケージフリーを誤って名乗っているとの批判もあった。Compassion in World Farming は企業に対し、すべての地域をカバーし、殻付き卵、卵製品、卵原料などすべての卵カテゴリーを含め、グローバルなサプライチェーン全体で 100%ケージフリーを実現するよう求めています。

## 産卵鶏にケージフリーの未来を？

Compassion in World Farming の食品ビジネス担当グローバル・ディレクターであるトレシー・ジョーンズ博士は、この報告書で強調された自主的な取り組みと継続的な進展は、食品企業が採卵鶏にケージフリーの未来を提供することに注力していることを示していると述べた：「ヨーロッパには、動物福祉をリードするまたとない機会があります。欧州委員会は、ケージの使用禁止で市民の声に応え、企業の移行を支援することで、産業界全体に公平な競争条件を作り出し、ケージは永久に歴史の教科書に載せるべきだという強いメッセージを世界に発信する重要な機会を得たのです」。

## イギリス：23%の鶏がケージ飼い

一方、イギリスではケージ飼いの鶏の割合が初めて 4 分の 1 を下回り、2023 年にはわずか 23%になる。しかし、動物愛護連盟は、政府はケージ飼育を全面的に禁止すべきだとしている。

動物愛護連盟のグローバル動物福祉マネージャー、ミア・ファーニホーは言う：「ケージに入れられる鶏の数は減少し続けており、英国の一般市民がこのような残酷な飼育システムを嫌悪し、動物にとってより良い環境を望んでいる証拠です。しかし、禁止令がなければ、この着実な減少が頭打ちになり、何百万羽もの鶏がケージに閉じ込

められたままになる可能性があります。政府は、全面的な禁止令によって残酷なケージを根絶することで、リーダーシップと思いやりを示さなければなりません。

## ケージ禁止

フランスでは新しいケージの設置が禁止され、オーストリア、ルクセンブルグ、スイスではすでにすべてのケージシステムが禁止されている。ドイツ、チェコ共和国、スロバキアでは、今後数年で発効する禁止令を制定している。米国でも 11 の州でバッテリーケージが禁止され、前進している。

EggTrack 2023 の全レポートは [www.eggtrack.com](http://www.eggtrack.com)

[Tony Mcdougal](#) Freelance Journalist